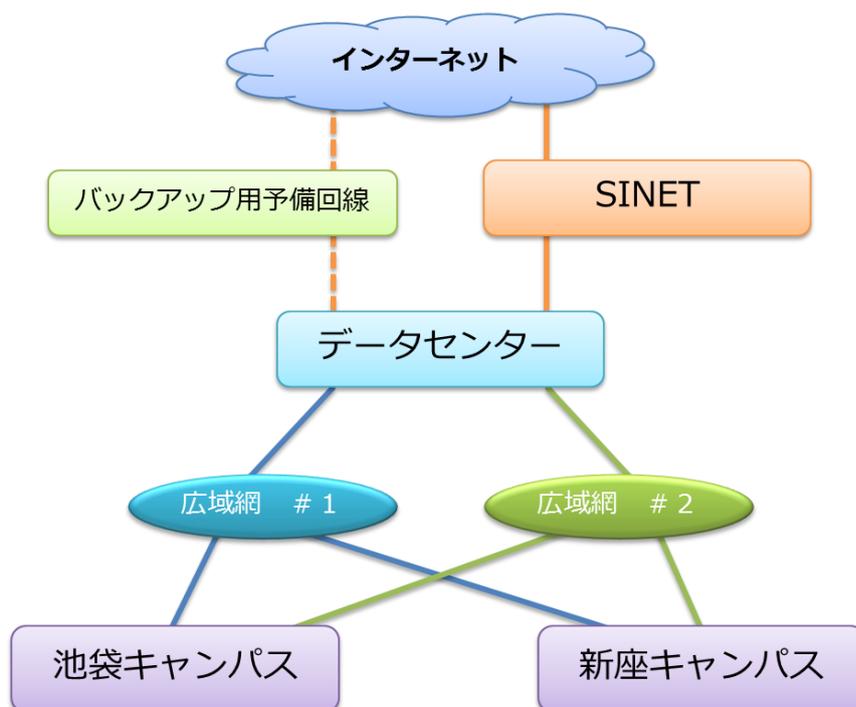


回線

1. 概要

回線は池袋キャンパス、新座キャンパスとデータセンターを結ぶ広域網、及びデータセンターから学術ネットワーク SINET へ接続する専用線の事である。

普段意識しない所ではあるが、インターネットを含むサービスを利用する際には必ず通る部分であり、万が一障害が発生すると多数のサービスが利用できなくなるため、利用者への影響も極めて大きくなる。その為、キャンパス⇄データセンター間・データセンター⇄インターネット間共に二重化する事により信頼性を高めている。



2. 利用状況

年間の利用推移は次の通り。

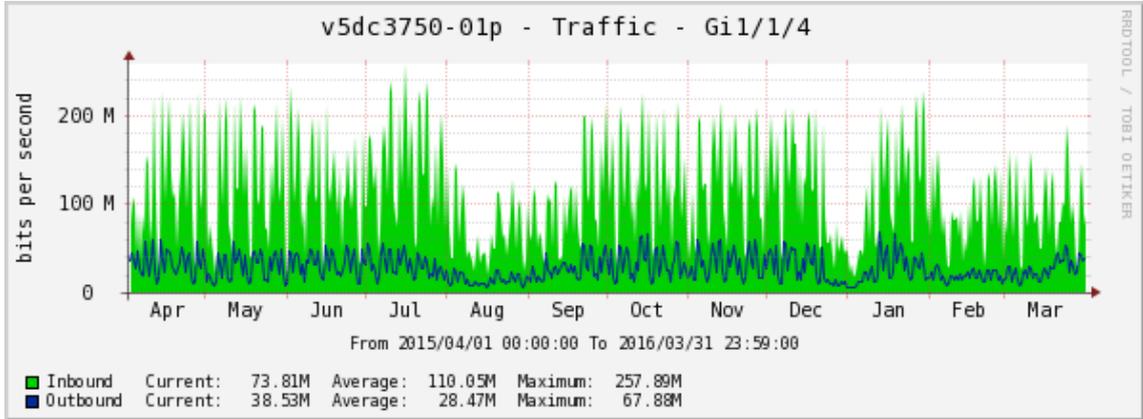


図 1: インターネット接続回線 (データセンタ ⇄ SINET)

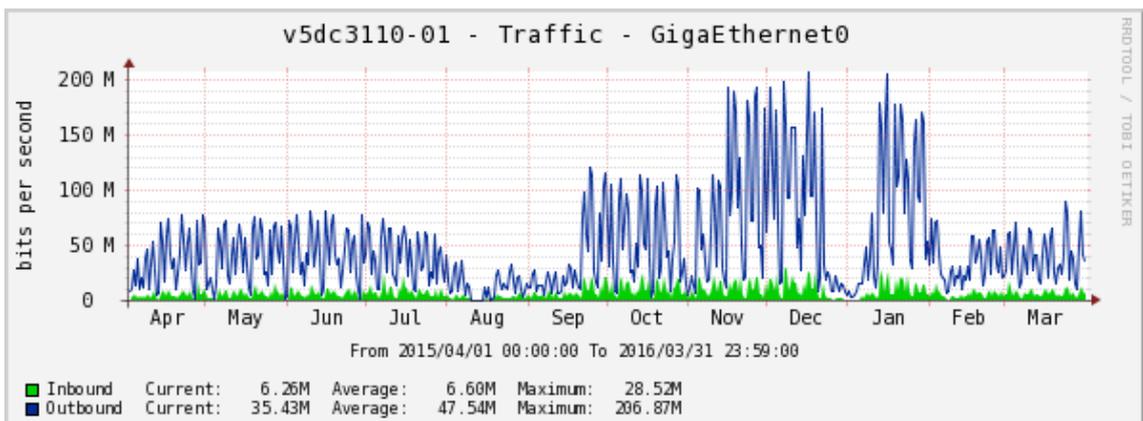


図 2: キャンパス接続広域網 #1 (データセンター ⇄ 両キャンパス合計)

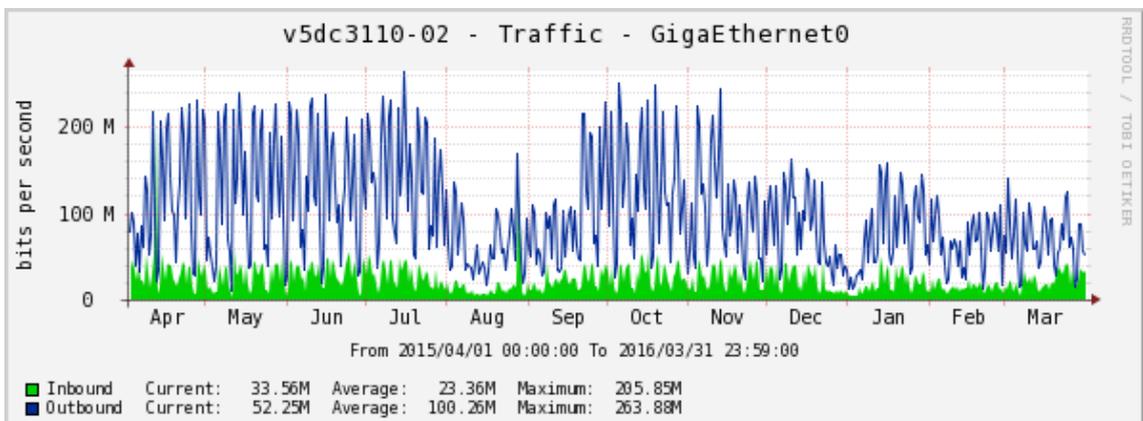


図 3: キャンパス接続広域網 #2 (データセンター ⇄ 両キャンパス合計)

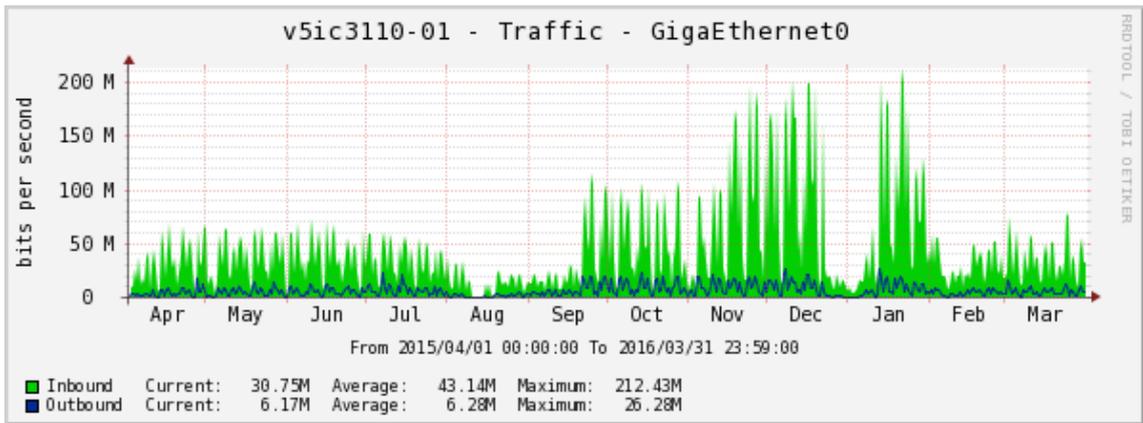


図 4: キャンパス間広域網 # 1 (池袋キャンパス ⇄ データセンター)

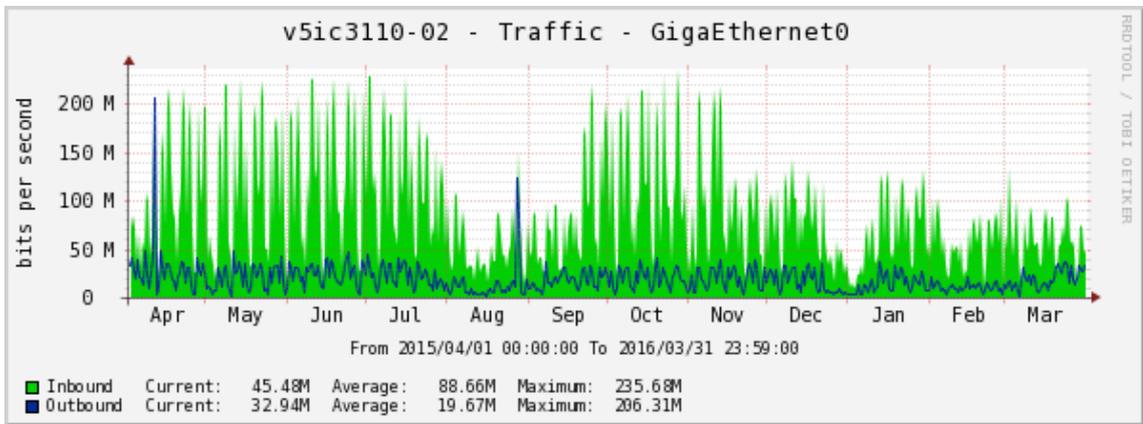


図 5: キャンパス間広域網 # 2 (池袋キャンパス ⇄ データセンター)

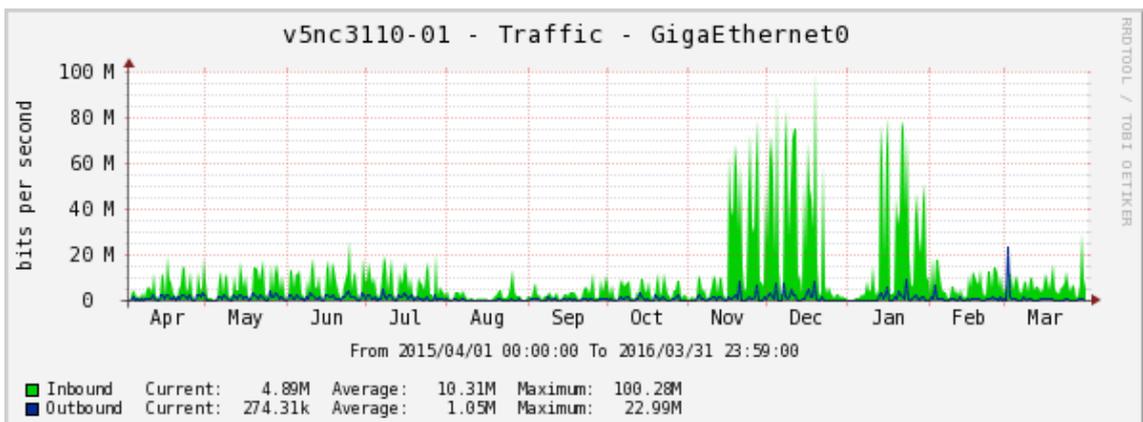


図 6: キャンパス間広域網 # 1 (新座キャンパス ⇄ データセンター)

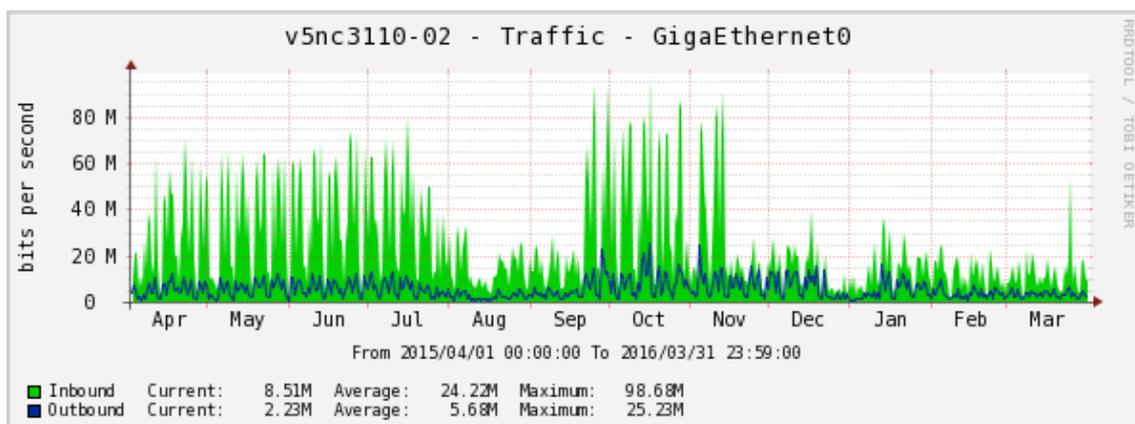


図 7：キャンパス間広域網 # 2（新座キャンパス ⇄ データセンター）

3. 2015 年度のまとめ

昨年度に比べ全体のトラフィック量はさらに増加している。トラフィック量の増加に伴い、2015 年 6 月にはキャンパス接続広域網 # 2 の機器で処理能力不足が発生する状況となったため、キャンパス接続広域網 # 2 において負荷を下げる措置を実施し、改善を行った。この事はキャンパス接続広域網 # 1, 2 のグラフからも読み取ることができる。

2016 年度から開始される V-Campus 6th Stage においては、同様の事象が発生しないよう、予め考慮した設計を行う予定である。